常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1,210
編集部専用1,269

産婦人科
齋藤医院
駅ヨリ三分
平市南町 電九〇二
入室完備

お天気

「今晩」北西の風晴れ一時曇り。「明日」北西の風晴れたり曇ったり。「海上」今晩は風波がありますが明日は多少風波ある程度。

石城一周駅伝要綱決る

第四回

七区、76キロを走破

23日午前九時半四倉出発

恒例・秋のスポーツ絵巻、石城地区陸協、同高体連、本社主催の第四回石城一周駅伝競走は二十三日、県農業共済会兼石城産業文化祭行事の一環として盛大に挙行する。参加を予定される高校、一般チームは「今年こそは優勝」の意気に燃え早くも試走など練習に入っているが、このほど大会要項が別項の通り決定した。本年も例年どおり四倉消防署前を午前九時半スタート、午後一時五十分すぎ本社前にゴールインの予定である。錦色の陸前浜街道に、若人が日頃の鉄脚をきそう駅伝は一大スポーツの祭典である。走破コースは四倉―平―常磐―植田―勿来―植田―磐城―豊間―平の七十六・五キロと文字通り石城を一巡するが、去る三日の踏査により一区、二区、五区、七区の各区間の走路が図解のように変更された。なお大会参加チームは二十チーム前後になるのではないかと予想されている。

コースの一部変更

「走破区間」▼十一月二十三日雨天決行▼出発＝四倉町消防署前午前九時半▼決勝点＝平市田町常磐毎日新聞社前

▼コース＝四倉―平―内郷―常磐―植田―勿来―植田―磐城―豊間―平。区間、距離、中継所、通過予定時刻は次の通り

◇第一区四倉―平一二・〇常陽銀行前一〇時十分◇第二区平―湯本七・五常陽銀行前一〇時三十八分◇第三区湯本―植田一三・七旧国道駅前一一時二十二分◇第四区植田―勿来―植田九・〇伊勢屋食品店前一一時五十四分◇第五区植田小名浜一一・〇石井医院前一二時三十四分◇第六区小名浜―豊間九・三湯場米屋前一三時七分◇第七区豊間―平一四・〇常磐毎日新聞社前一三時五十一分

「参加資格」❶一般の部、高校の部に分ける❷一般の部に於ては居住地を石城地区内におくもの❸高校に於ては昭和十三年四月二日以降生れたもの

「申込」別紙申込様式により十一月十七日必着で平市高月七磐城高校内石城地区陸上競技協会宛申込むこと

「競技方法」学校対抗（チームはチーム対抗）として選手七名補欠二名とする

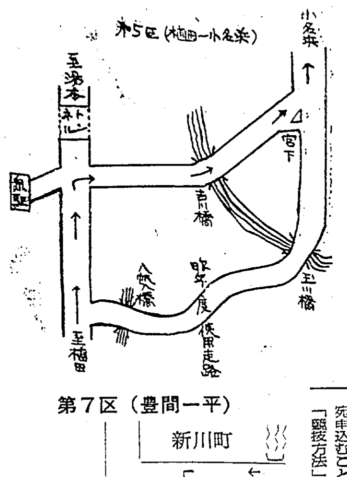
「参加料」一般五百円、高校三百円

「選手心得」❶壮健者にして予め医者の診断を受けたもの❷選手は縦十五センチ、横二十五センチの白布に校名を記入したゼッケンを胸と背につける❸選手は審判長より与えられたタスキを中継すること❹選手の変更は当日競技開始前に申出ること但し変更は補欠の届出者に限る各走者の区間変更は認めない❺次の各項に該当する者は失格とする▼途中乗物その他他力による援助を受けたもの▼コースを誤ったまま受継いだもの▼他チームの選手を妨害したもの（応援車及び応援者も含む）▼競技中刺激物、飲食物の給与を受けたもの▼審判員、係員の指示に従わないもの▼参加資格の規定に違反したもの❻競技中選手が故障した場合はその旨最寄りの審判員に申出ること❼自転車による伴走者は各チーム二名とし校名を記入した腕章をつけたものに限る

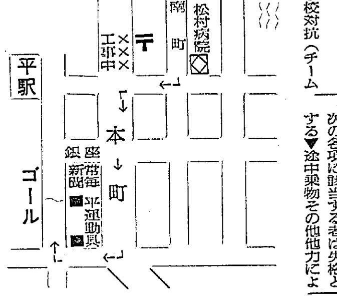
「開閉会式」開会式は午前九時出発点に於て、閉会式は全チーム到着後常磐毎日新聞社で行う

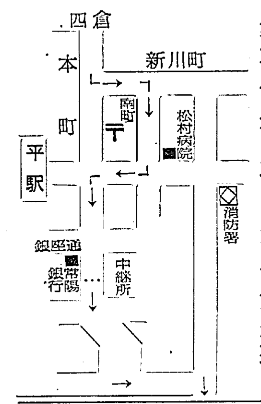
「その他」応援車は各チーム一台とする。応援車は全て高橋（大浦仁井田川）以南で待期する

「監督主将会議」十一月十七日午後三時平市田町平高等理美容学院で行う。



第7区（豊間―平）





第一区（四倉―平）及び第二区（平湯本）

平年作上回るか

葉たばこ　来月12日から収納

日本専売公社平出張所管内の葉たばこの収納は十二月九日、川前村をトップに一、二の三カ月間にわたって行われるが、ことしは作付当時心配された成育状況も次第に回復して収穫期には昨年の収穫を上回り平年作以上の収穫を見込んでいる。最初、作付当時は異状乾燥で成育が悪く、一部砂丘地帯では苗が干上ったため植かえしたがその後、若干の降雨で立ち直り、再び病虫害に見舞われるなどで昨年の実収量の二十万八千キログラムを下回るのではないかと心配されたが収穫期前に天候が持ち直ったのと病虫害の被害が予想より少なかったため昨年より反収が十八キログラム増えて管内で三十万三千キログラムの実収を見込み、平年作を若干上回ることを見込んでいる。

耕作面積は四月一日から小野新町出張所の所管であった川前と中三坂の両取扱所が平管内に区域変更がなされて昨年より四十二ヘクタール増え、百八十六ヘクタールとなった。

収納日は中三坂の来年一月二十七日を最終日に収納の全日程を終るわけだが、特等四百十円から一等三百五十円、二等二百八十円、三等二百三十円、四等百八十円、五等百四十円、六等百円、七等七十円、八等五十円の価格で取引きされるが管内の総額は昨年の五千三百二十六万六千円を若干上回るものとみている。管内の収納日程次の通り（カッコ内は包数＝一包は一〇―一二キログラム）

【平出張所】▽十二月二十二日…平市山口（三七九）高久（二八六）▽二十三日…北神谷（三四八）片寄（三四五）▽二十四日…夏井（一九八）常磐市絹谷（二四九）上矢田（一六一）内郷市宮（一五四）▽二十五日…好間村好間（八九）磐城市鹿島第一（五四五）▽二十六日…鹿島第二（三三五）鹿島第三（一二五）四倉町玉山（一〇四）山田小湊（一五四）▽二十七日…四倉町駒込（一九七）白岩（二〇九）柳生（一四〇）

【小川郷臨時取扱所】▽一月九日…小川町根本（四二九）▽十日…高萩（一七七）薬の木（一四七）西小川（一二七）下小川（一六八）▽十一日…塩田（三三一）桐ケ岡（二五一）▽十二日…柴原（一五六）江田（一三一）福岡（一八一）▽十三日…上小川（二五一）

【泉取扱所】▽一月六日…勿来市石塚（一九三）江畑（一九四）勿来（一〇七）磐城市釜戸（一六七）小名浜（八八）▽七日…永崎（一六六）常磐市磐崎（一九一）

【上遠野取扱所】▽一月十八日…田人村黒田（一六〇）綱木（四三五）▽十九日…下黒田（二一三）宝坂（二一〇）旅人（八三）荷路夫第二（一九八）▽二十日…荷路夫第一（一五五）遠野町深山田第一（四七六）▽二十一日…深山田第二（四二七）大平（二九六）▽二十二日…深山田（一五四）入山（一四二）東山（三三六）▽二十三日…滝（二五九）上根本（二二四）入下（二六五）▽二十四日…入下（五〇）根岸（三四九）根本（二五一）上遠野（八二）▽二十五日…上遠野（二一六）小山田（二五二）勿来市山田（二三五）

【渡戸取扱所】▽一月三十日…渡戸第一（四七一）▽三十一日…渡戸第一（一四四）下市萱（二二五）▽二月一日…下市萱（一〇〇）父沢（三八八）▽二日…渡戸第二（二四八）永井第二（二五四）▽三日…永井第一（三八一）中寺（五六）▽四日…中寺（二三四）菅（一八四）▽五日…渡戸第二（四二一）▽六日…好間村大利（一五五）榊小屋（一四三）内郷市高野（二四六）

【川前取扱所】▽十二月九日…川前村五味沢（一五五）山下谷（一〇〇）小白井（八二）矢田谷地（三三〇）▽十日…沢尻（三七五）中里二区（二六四）▽十一日…中里一区（二三五）宇根尻（一九三）成木殿林（二一二）

【中三阪取扱所】▽十二月十四日…上三阪三区（一八三）中三阪下組（四六四）▽十五日…中三阪向（二六五）下三阪（三九六）▽十六日…上三阪一区（二一六）中三阪中組（二七一）塩（一四二）▽十七日…中三阪上組（三一九）上三阪二区（二七四）

日用品販売は無関係

原水爆禁止石城協議会事務局では最近原水爆被害対策と実験禁止として日用品を売り歩く者がいるがこれは同局と何ら関係ないから誤りのないよう望んでいる。

一般の参加望む

郡民の協力に感謝

陸協会長
鈴木喜政

【鈴木喜政氏】

なお石城一周駅伝も今年で第四回を迎えたわけであるが、各年とも大会長として駅伝の振興に尽力して来た石城陸協会長鈴木喜政氏は「年を追うごとに高まる一般市民の協力には心から感謝する」と前おきして次のように語った。

「石城一周駅伝も今年で第四回を迎える。回を追うごとに盛会になってくることは、吾々駅伝を愛する者にとって嬉しい限りだ。これも一般市民がスポーツとしての駅伝を理解し、協力して下さるお陰と感謝している。石城地区には県下、いや全国的水準からみても優秀な選手が多いのは、普段に練磨しているからである。その意味では石城一周駅伝も大役を果していると思う。昨年度は平魚市場チームが初出場して大会に華をそえたが今後は事業所、商店、青年会なども進んで参加し、郡民が一体となって応援合戦に火花を散らすような大会に盛り上げて頂きたい」

料亭
小富
電二〇二

石城に大学設置

県下の議長会で決議

第三十二回県市議会議長会臨時総会はきょう六日午後二時から平市役所議事堂で十四市の正、副議長事務局長三十八人が集り開かれた。総会はまず大泉会長の挨拶、諸橋市長の祝辞、新任市議長、新市正副議長などの紹介があって下河辺行雄氏（郡山市議長）に感謝状を贈呈、議事に入った。議案は各市から提出された災害復旧事業の促進強化、常磐地区に理科系短大の設置などつぎの六件であるが、いずれもこれを採択して各係当局に対し運動を展開することになった。

また失業対策事業について❶現行補助率三分の二を五分の四に引上げる❷学力費、資材費、事務費の単価を引上げる❸就労日数二十一日を二十五日に増加❹不具、老令者等を社会保障制度に切替える一方、事業種目の再編成を図る❺失業多発地域の特別措置を講ずる❻起債は全額国庫負担が実現されるまで市費負担分はこれを認める❼越年、年末手当の特別措置を全国統一にすることなども併せて決めた。また明八日は午前八時三十分から水石山、赤井岳、沼ノ内弁財天、塩屋崎燈台などの観光地を視察して閉会する。提出議案の内容はつぎの通り。

◆災害復旧事業促進強化について（須賀市議会提出）＝台風による県内一円の道路、橋梁、河川等の被害は甚大である。これら全面的復旧整備方を県当局に要望するとともに地方負担の軽減を図る。

◆災害復旧及び救済対策について（常磐地区五市議長会提出）＝❶台風被害地帯に対し特別に法的措置を講じ、その復旧の早期化を期す❷被害地対策として住民に対する生活対策の推進、税の軽減、特別交付税の全額配付、災害復旧起債の全面的承認等特別の措置を講ずる。

◆常磐地区に理科系短大の設置実現方促進（常磐地区五市議長会提出）＝人口三十五万を有する当地区は近く大鉱工業都市に発展することが約束されている。地域の実情などから有為の職業人を教育する短大を設置することを要望する。

◆磐越東西線のディーゼル化並に両線と福島間に直通列車運転実現方要望について（常磐地区五市議長会提出）＝❶両線はトンネルが多く、更に運転時間経過などの悪条件を解消するためディーゼル化の実現方を要望する❷常磐地方総合開発の進展と只見川水系の発電開始、ハードボード工場の実現などにより県都福島市と往来は頻繁となっているため直通列車を運転してほしい。

◆常磐地方に国立石炭化学研究所設置について（常磐地区五市議会提出）＝当地方は常磐総合開発などにより石炭化学産業の合理化を企図せねばならないので、これらの推進を図るため研究所を設置すべきである。

◆小名浜商港の早期完成について（常磐地区五市議長会提出）＝各種工場の誘致、既設工場の増設、当地区鉱業の発展などから県単独事業に対する長期融資の増額で早期完成を期せられたい。

在京郷人も協力

四倉の史学館建設に

四倉町史学会（会長本多徳次氏）は去る二日史学会館建設資金募集のため、東京に在住している郷土出身者に呼びかけ資金獲得に乗り出したが四日帰町した。

本多氏の話によると、郷土出身者である葛飾区内に居住している東武鉄道取締役長谷川候氏、並びに弟の第三郎氏はこの事業計画について協力してくれることになり、郷土出身者に呼びかけ三、四十名をまとめてみようと約束され、激励してくれたので百万人の同志を得たことと郷土愛と友情にあるものと徳の深さに敬服した。また東京都墨田区亀井町伊東パンKK社長佐藤泰輔氏は休日のため不在だった運転手に変って社長自ら自家用車を運転して道案内してくれた温情には全く感謝し、予期以上の成果を挙げてきたことを語っていた。

本社来訪　県石城事務所長、石城福祉事務所長、石城地方病害虫防除所長恩田俊次氏は栄任あいさつのため七日本社来訪。

質
世界館前
戸沢

会と催し

磐城市便り

◇十日　道徳教育研究会　渡中

◇十三日　職業家庭教育研究会　江名中

◇十四日　理科研究会　鹿島小、中の各学校

◇郡下高、中、小学校合同社会科研究会では二十二日午前十時から小名浜高等学校で漁村地理現地踏査研究会を催し、講演は小名浜公民館に東京教育大蜂川、茨大、菅野両教授が当る。

◇十七日　江名小学校では習字、図画の校内展示会を開く。

小型車、店に突込む

六日午後六時五分ごろ常磐市湯本字傾城一二地内国道で郡山市清水台五三佐藤寿男(三)の運転する小型四輪車は勿来から平方面に向って進行中、頭痛のため放心状態で右カーブにさしかかったさい、ハンドルを左に戻さなかったため、そのまま常磐市傾城十一玩具商安斎国行さん(三七)方店舗に突入、氷売場などを大破して損害五千円を与えた。常磐署の調べによると居眠運転の疑いがある。

下旬に低温見込む

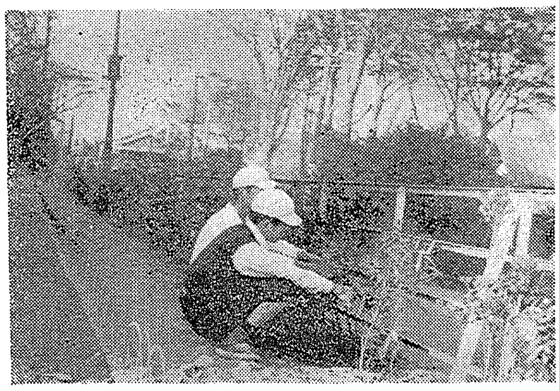
十一月のお天気診断

小名浜測候所では十一月の天気について「気温は平均して平年並だが中、下旬ころは低目になる」と次のようなご託宣をしている。

（概況）周期的に変動がありますが割合秋晴れの日が多い見込みです。気温は月平均では平年並くらいですが上旬から中旬にかけてと中旬末および月末ころには低目になりましょう。なお中旬より一時季節風型の天気になり会津地方には時雨が多いでしょう。

（気温）（上旬）六日ころまでは高目ですがその後は低目になりましょう（中旬）旬半ば一時平年並か、やや高くなりますがその他の日は低温が出やすく、とくに旬はじめおよび旬後半は冷込みが強いでしょう（下旬）半ば過ぎまでは高い日が多いですが旬末ころからは低目になりそうです。

（降水量）（上旬）前半は割合天気の日が多いですが後半は崩れやすく、とくに旬半ばころは大きく崩れそうです（中旬）中通りや浜通りは割合に晴れた日が多いですが会津地方や西部山沿地方は時雨やすく、とくに旬はじめころと旬半ばころに崩れやすい見込みです（下旬）前半は晴れの日が多いですが月末ころに一時天気が崩れ、その後季節風型になってくるでしょう。



情操教育に一役

平一中に花壇完成

平一中（鈴木光四郎校長）では体育館東側に半円の鉄ワクで囲んだ花園をつくり、生徒たちの情操教育に一役を買っている。この花園は正門から裏門まで三九・五メートルで花壇にはツツジ七十五本、バラ十二本、ユツカ六本きよう竹桃四十本を植え、見事な花園に道行く人たちの目を見張らせている。経費は十万円でこのほど完成した。（写真は見事な花園）

魚菜市況

魚類（単価キロ当円）

▽サンマ	一六
▽タコ	一〇一―一〇七
◇小ナメタ	五三―八〇
▽イカ	五九
▽ドンコ	五三
▽ヤナギ	一三三

（にんべん市場調）

青果（キロ当り単価円）

▽ネギ（四キロ）	二〇〇
▽ネギ（小束）	一二―一三
▽ニンジン	三〇―六〇
▽ゴボウ（四キロ束）	八〇―一一〇
▽ダイコン	一五―三〇
▽サツマイモ（一八・七五キロ入）	三五〇
▽ジャガイモ	七―一五
▽ハクサイ十五瓩	二五〇―三五〇
▽ホウレン草（一束）	一二―一八
▽ニラ（〃）	五―一〇
▽キュウリ（四・九キロ箱入）	四五〇―五〇〇
▽ミカン（三・五貫箱入）	六五〇―一〇〇〇
▽カキ	二五―六〇
▽リンゴ（一箱）	四五〇―一〇〇〇
▽バナナ（三・七五キロ）	八〇〇―九〇〇

（マルサ青果調）

D.P.
カメラとシネ
冨士商会
TEL. 2144

余韻

統計によると日本の何処かで——二十分に一人づゝ——毎日七十人が自殺しているそうである。そしてそのうちの大半は若い、二十世代の者が厭世自殺をしている。生きる望みのなくなった青年男女に深く哀悼の意を捧げる前に、自殺王国日本のこの時代相をこそ、悲しむべきではある▼昨日の三和村の一家五人心中はその犠牲となった三人が頑ぜない子供であった丈け人々の心を強く痛め、限りなき同情を集めた田畑二反歩と、かたわら炭焼きをしていた水飲百姓の平山さんは、家庭が当然めぐまれている訳がない。たまたま国有林と知りつゝもついこれを切り出しトラック一台分ほど薪にして売ったのが悲劇の始まりである。そのため子供等は学校でも〃泥棒の子〃と友達から遊んで貰えないし、自分等一家も村人から冷たい目で見られ、つまり「村八分」のような格こうになり、それでなくてさえ、人の口の「うるさい」小村落であるから死にも勝る「恥」と考えつめたのであろうか▼何千万円もの国民の血税を無駄に費ったり横領しても一向平気で大手を振って世間を馬鹿に見下している者が、時が過ぎると忘られてしまう今の世の中である。わずかのものを「貧困」の故に盗んだために一生を棒に振る例は夥しい▼こゝで吾々は特に若はこれからの人々に望みたいのは、何んでも計画性を持って貰いたいことである。特に結婚問題について来るものは「子供」と云うことである。死んだ平山さんも他目でみても、彼の生活からして子供が多すぎるようだ。この様な不幸な結果もその原因は九十%は子供の「将来」を考えたからではないかと思う。自分等夫婦二人なら、こんな事で死なずとも良かった筈である。▲貧乏人は「子」を生むなと主張するのではないが——己の生活の「基本」とニランデ子供は生まさるべきである。無責任な親達のその累積を、関係のない子供にまで及ぼす——まして殉死の形式に於て——とは人間としてこれ以上の罪悪はない。一度生をこの世に享けた生命の尊厳さを、人々は改めて認識すべきである。

常磐名産
（登録済）
常磐　常磐
黒羊かん
黒びかん
おいしいアメ
黒びかんアメ
常磐地方の人気をさらった
唯一つの名産品
常磐線各駅鉄道弘済会
有名商店にて販売しております
あさ川 製菓株式会社
水戸市大工町広小路 電2561・2908
支店 平市南町 電1414

女子社員を求む
当社に於て女子社員を採用致しますから御希望の方は左記御含の上御出で下さい
一、磐女高、平商高卒業の方
一、旧平市内より通勤出来る方
一、年令二十三才以下
一、履歴書持参の事
常磐炭礦福島県販売株式会社
平市田町二四　電話三七・二三七

新装開店
11月8日
8日〜3日間
ウエスキー記念サービス致します
銀馬車
平市紅小路通り　TEL 645

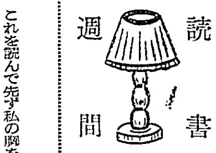
あみもの生徒募集
入学随時。規則書呈上　新しい感覚で考案された編機
東京文化のスタートF8
三浦ミシン商会　平市三丁目平和通り
東京文化編物教室　TEL 八六四

社員募集
※業務拡張に付、左記要員を急募す
※販売員要　廿三才以上、男女八名
（販売意欲ある活動的、市内又は通勤可能の方）
●待遇…正社員として業界最高の収入保証●高給固定給並に能率給●将来幹部昇進給の途早し●月収一万三千円以上（見習中）確実●履歴書持参（郵送可）乙面接日通知します
☆性能を誇る……ミシンと編機
ブリズムミシン工業株式会社 浜通り地区営業所
内郷市金坂通り　小松ミシン商会内
（電話・平一七四四番）

大納言と申す小言でござる
北海道は十勝平野から新物の大納言あずきとうずら豆が入ってきました。粒の揃っていること、色つやのよいことさすがに本場物です。
○大納言小豆　一袋　四五円
○長うずら　〃　四〇円
○べに金時　〃　四五円
土曜特売新巻サケ、缶詰、ジュース
小名浜
平市
藤越

妻テル儀病気療養中の処薬石効なく十一月六日午後八時二十分自宅で死去いたしました。生前の御交誼を深謝し謹んでお知らせ致します。追って葬儀は十一月九日午後一時自宅出棺海蔵寺に於いて相営みます

昭和三十三年十一月七日
四倉町新町一二六
喪主　鈴木幸次郎
親戚代表　鈴木忠太郎
外　親戚一同
友人代表　木村守江



シュヴァイツァ伝記を読んで

黒田洋一

これを読んで先ず私の胸を打つたことばは

「お前は償いをしなければならない」

「償いをする？何によつてか」

「奉仕によつてだ。幸福を知らぬ人々への奉仕によつてだ。身体と魂との苦痛にのたうつている人々に対する奉仕によつてだ。苦しんでいないお前、祝福を恵まれるほど受けているお前はそれ等の人々に借財がある。」

「学問をすることもまた奉仕ではないか？思想もそうではないか？真理への努力も？無知と因襲的な偏見とに対するたたかいも？芸術もまた一種の奉仕ではないか」

「神によつて祝福された人類の幸福な子たちは、直接的な奉仕を天から命じられている。」

「この奉仕はどういう種類のものであろうか？」

「それは心情と手との奉仕だ。単純で非英雄的な行為、受け取つたものを返済するような状態にはほとんど至り得ないような人々に対する。連日連夜くりかえす絶え間のない自己放棄だ」

「私はそのすべても放棄せねばならないか？」

「それでは多すぎるだろうか」

「いや、私がこれまでに持つたもの、今所有しているものに比べれば、多すぎることはない。」

という自問自答であつた。そうだ、確かに我々は幸福の償いをしなければならないのだ。しかしこのように惜みなく与えられた祝福を、いつたいどのようにして償うことができようか。今このことを思いめぐらしても分らない。だが時が来たら分るただ今は、このことを忘れてはならない。心の火を消してはならないのだと思う。シュヴァイツァーは三十才の時、暗国大陸へ『医師』として赴く決意をし再出発しようとしたのである。彼がもし何らかの野心を持つていたならば、その後、何カ月かの間に、その決意を鈍らせるような誘惑を受けたであろう。あるいは前途に広がつている、安易な道を進んだかも知れない。多くの友達は彼を非難した。彼には自分を決意へ駆り立てた。この衝動の真の深さを示すことは苦痛であつたにちがいない。なぜならば、彼がそうして得るものは、ただ人々の不信、虚栄だという非難、ほんとうは全然別な動機があるのだろうという嫌疑だけだつた。だが彼はあくまでもこの決意を変えることをいさぎよしとしなかつた。シュヴァイツァー博士はまたもや学生となつたのである。博士は神学的な諸作品を完成し、音楽家としてその地位の高みにとどまり続け（経済的な事情もあつたのであろう）同時に医学を研究したのだつた。その苦労は並大低のものでないにちがいない。我々凡人にはとてもまねのできないことだ。この長い努力と闘いとの生活を支えたのは何であつただろう。先ず第一にあげられることは、彼の不幸な人々に

たのである。音楽家、学者、牧師、説教者としての洋々たる前途を放棄し、再び医師として、対する真の愛情――キリスト教の信仰の基礎の上に立つての――であると思われる。又後のこの苦しい生活の間にあつて彼をなぐさめたのは自然と音楽とであつたと思う。音楽こそ博士の全生涯を通じて博士をなぐさめてきたものである。博士が困難な出来事に出合つた時常にはげましたのはゲーテのことばである。

博士が医師としての研究を終えて、人類の奉仕者として取り消すことのできない新しい生活に入るため、学者および芸術家としての活動に終止符を打つべき時がきた時の博士の心境はどんなであつただろう。

博士が一番最初に出合つた困難は資金の調達であつた。博士は独持の自己否定とユーモアとを持つてそれを克服していつたランバレネの小さな白い家の前で露天で病人達を扱いはじめてから、四十棟もの病舎を建てるまではただ努力と忍耐のみであつただろう。第一次大戦中の収容所生活、第二次大戦中の物資欠乏等をじつと耐え忍んで、人類愛を説き、原住民達に伝道してきたのである。欠乏の中にあつても利益など全く考えずに何も持つて来ない者にも口でははげしく言うが、やはり同じように診察してやつていた。

博士のことばで忘れることのできないのは

『生への畏恩』

である。大ていの人は自分の生命を尊重する。生命を軽んずるところには破滅があるだけであるが、生命を尊重するところには全てのものがある。故に生命は尊いのである。自己の生命は尊ぶが他の生命は尊ばないということではなく、全ての生命――人間だけでなく――を生命であるが故に尊ばなければならない。（これは参考書などで調べたのでないから、全く正しいとは言わない）

（筆者は磐高一年生）

映画　12日より　平館

巨大な製鉄の町に

働く人々の希望を描く

この天の虹

一作毎に問題作をものにして万丈の気を吐く、木下恵介監督が本年度芸術祭参加作品として製作を決定した松竹グランドスコープ・フジカラー「この天の虹」は、同監督が二年前より企案、東洋一の大工場八幡製鉄所を背景に、そこに働く人々の喜びと希望の生活を描く斯界注視の感動巨篇である。

物語＝鉄が燃え、人間の生命が燃えて、この天に七色の煙が立ち昇る北九州の一角に、東洋最大の製鉄工場、八幡製鉄所がある。この巨大な近代産業の工場は昼となく夜となく日本の国力を背負つて鉄と人間が火花を散らして斗つているのだ――縦横に走る構内鉄道、その運輸部ポイント返しの若い作業員須田菊夫（川津祐介）は、よう鉱炉の組長彫山直司夫婦（笠智衆、田中絹代）の社員アパートに下宿していたが、ある日、彫山夫婦の一人息子稔（小坂一也）が姿を現わした。稔は、かつて優秀な学生だつたが、八幡製鉄の入社試験に規定の体格に及ばず受験出来なかつた事からヤケになり、折角入つた会社も面白くなく会社が潰れたと偽つて家に帰つて来たのだ。

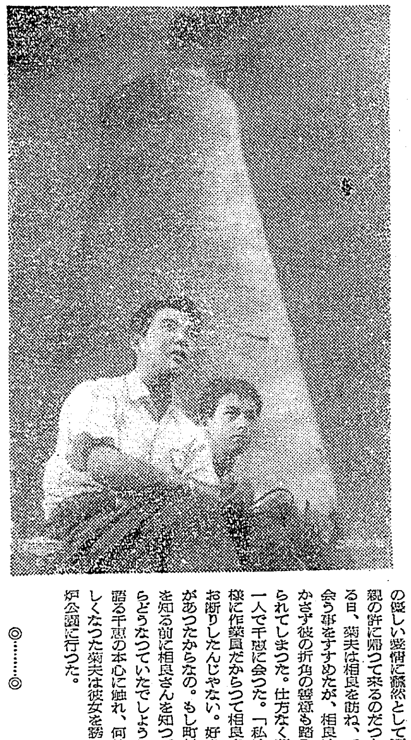
彼は製鉄所に働く菊夫をいつの間にか激しくしつとしていた。

菊夫が兄の如く慕うよう炉工場の核心、相良修（高橋貞二）は親和会でフト知り合つた女性に心を惹かれていた。厚板工場の伍長帯田良平（織田政雄）の娘で秘書課の女事務員千恵（久我美子）である。彼は田舎から母（浦辺粂子）を呼び彫山を仲介にして帯田家に交渉して貰うことにした。帯田家では、妻のたつ江（岡村文子）が、作業員は夫と息子で沢山だと真向うから反対した。息子の京一郎（大木実）もストリップ工場の作業員で病院の看護婦平野八重子（伊藤弘子）という恋人がいたが彼だけが「相良さんていい人だ」と相良の味方だつた。だが、千恵にはすでに恋人がいた。建築技師の町村四郎（田村高広）だつた。

彼は八重子の叔父渉外課勤務の前川誠二（須賀不二夫）の社宅に下宿していたが、前川の妻久子（小林トシ子）はいつしか町村に想いをよせていた。製鉄所管げん楽団演奏の音楽会が開かれた夜、菊夫と一緒に来た相良は仲睦じい町村と千恵の姿を見て不安な気持を抱いた。その頃、彫山の家には千恵の母が相良との縁談を断りに来ていた。相良は失望したが、それを知つた菊夫は自分のことの様に憤然として、彼女の母に詰問したが娘は作業員にはやれないと高飛車に言われ悲痛な面持で帰宅した。そうしたある日、千恵は意外な事を耳にした。町村がブラジル派遣の人選に入つているという事と、彼と人妻の久子の仲が……と言う噂である。同じ頃、町村は上司の園部部長（細川俊夫）に呼ばれ、部長のめい博子（高千穂ひづる）と水上カーニバルの夜、見合をする様に言われていた。それから数日、千恵の兄が作業中に負傷した夜、華やかに水上カーニバルが開かれ、満員の観衆の中には、彫山夫婦、相良母子、それに見合をしている町村と博子等の姿があつた。その頃、千恵は兄の京一郎の病床にいたが、その帰途彼女は偶然、酔つている菊夫に会つた。菊夫は再び、相良さんが作業員だから断つたのかと彼女に迫つたが、三人で納得する様に話し合うと言う千恵の言葉にその日は別れた。

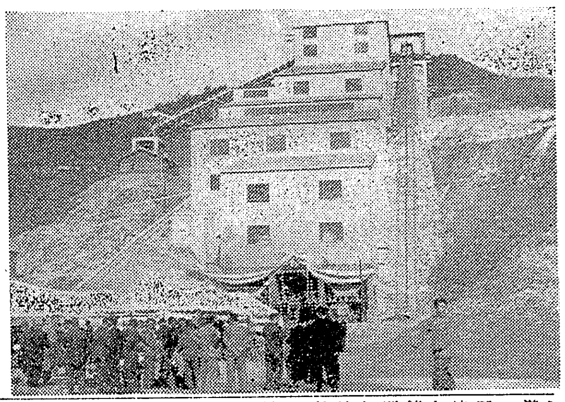
菊夫が帰宅したその夜、彫山の息子稔が父母の温かい眼に見守られ乍ら家を出たのだが、見送つた母の優しい愛情に翻然として再び両親の許に帰つて来るのだつた。ある日、菊夫は相良を訪ね、千恵に会う事をすすめたが、相良は耳もかさず彼の折角の善意も踏みにじられてしまつた。仕方なく菊夫は一人で千恵に会つた。「私は母の様に作業員だからつて相良さんをお断りしたんじやない。好きな人があつたからなの。もし町村さんを知る前に相良さんを知つていたらどうなつていたでしょうね」と語る千恵の本心に触れ、何故か嬉しくなつた菊夫は彼女を誘つて高炉公園に行つた。

◎……◎



近代的な選鉱場

日鉱八茎　採鉱作業も始まる



【写真は完成した選鉱場と落成式風景】

四倉町日鉄八茎鉱山の選鉱場、石灰石の貯石槽など第一期工事の落成式は五日正午から日鉄鉱業KK八茎鉱業所（所長西脇三樹雄氏）の選鉱場前に植田県議、平警察署長、湯井石城事務所長、地元町議、町役場各課長、地主、区長（玉山、駒込、戸田）など請負関係者ら約百二十名が出席して盛大に挙行した。

当日は晴天に恵まれ、鈴木宮司（四倉町諏訪神社）の祈祷があり、西脇所長から工事の経過報告と挨拶があつた後、西山助役（鈴木町長代理）植田県議、平労基署長安藤氏、地元地主代表馬上豊氏らの祝辞があり、続いて祝宴に入つた後、野村氏（日鉄）の案内で選鉱場を見学した。

同選鉱場は（写真）のとおり素晴らしい鉄材の建物で建坪二千坪、工費二億円を投じ昨年十一月に着手、同場は高浦平の一番高いところにあり、鉄精鉱舎（容量二十トン）と銅精鉱舎（容量二十トン）があり、八茎から地下電車坑道で運ばれてくる粗鉱を破砕機（クラッシャー）で砕かれる。同機は二段階になつており、最後はトリコンミルでウド粉よりはるかに細かくされ、まず銅を浮遊選鉱で採取した後、鉄を磁選機で選び、粗鉱の一日の処理量は百五十トンから二百トンで、この一〇%が銅、鉄の精鉱となり、金・銅などはこの副産物となる。同鉱は去る二十八年春に総工費二十億円を投じ開発に乗り出したもので、本格的に銅、鉄の鉱石月産二百トンを十一月から採取しているが、鉱区は四倉町を中心に千六百万平方メートルで銅、鉄の埋蔵量一千万トンといわれ、最低五十年間は採取するのではないかとみられ、今後の常磐総合開発の基地として期待されている。現在従業員は二百名で下請負業者として熊谷組、西松組、堀江工業、鈴木林産、清水組、新高組（電機工事）鈴木組が建設に当つているが、同鉱業所では第二期工事の設計を急いでいるが近く着手する模様である。

磐城で優良運転者表彰

磐城署ではこのほど左記優良運転者並に功労者を表彰した。

▽優良運転者　常磐交通古川龍男（三七）旭タクシー小野己三男（三三）地切温泉秋山赴夫（四三）江名坂本高露（三七）泉タクシー上遠野典昭（三〇）泉ラク農吉田俊秋（三七）鹿島田口祐広（三五）小名浜氏曳田中八郎（三九）磐城落物第二吉田正（三八）漁業会思上勝（三二）常磐交通中野一八（三五）小名浜タクシー渡田落夫（五〇）磐城貨物第二長瀬源次郎（四七）

▽功労者　湯内三郎、太田原忠助▽泉小学校　優良通学班　滝尻第四班長山形民子外十四名、神笑班長村上吉成外十五名、玉露第三班長伊藤成子外九名

移転後も電報取扱う

電話局旧庁舎

平電報局では十四日までに平市堂ノ前の新庁舎へ移転することになつたが、移転後もいままでどおり旧庁舎で電報の取扱いを行うことになつた。

現在四丁目にある旧庁舎は長年市民にも知られており、また街の中心地であるため五丁目、六丁目、鎌田町付近の住民は新庁舎へ行くよりも便利だという声が強いので同局では十五日から従来どおり委託業務として扱うことになつたもの。

大浦に99会誕生

病気追放明るい町に

四倉町大浦公民館（館長片寄忠重氏）では、このほど地元の五十才以上の老人に呼びかけ、健康長寿を人生の幸福のモツトーとする人々で〃大浦九十九会（ツクム会）〃を結成して会長に公民館長を選び発足した。うたの文句である〃貴方百まで、わしや九十九まで、ともに白髪のはえるまで〃といつて、この会は健康長寿をねがう人ならどなたも入会出来、定期的に血圧の測定や、健康生活の指導や話合いを行い健康の保持増進に力を入れ、大浦地区から病人の一人もいない健康明朗な町にするものである。

増える就職希望

中卒　なべ底に振わぬ求人

平職安管内、三十四年度に卒業する中学生の求人求職運動も明年一月中旬の第一次選こう日までに全予定を終り集団就職の出発となるわけだが、経済界をはいまわつているナベ底景気の影響で就職口がせばめられているのに就職希望数も昨年度より約七百人ほど増えていることが中学卒者の就職に大きなブレーキとなつている。

平職安管内ではことしの卒業生八千四百十九人に対し就職を希望する生徒が二千九百八十五人で全体比の三五・四%にあたるこの数は昨年の三四%よりも増え、約七百人が増えている。これに対し五日現在で東京都など県外から集団求人申込みが五百八十人あつただけで就職希望数が増えた割合に求人申込み数は平年並というわけで、増えた七百人の就職をどうさばくか今後に残された大きな問題となつている。

昨年あたりは就職運動も十二月に入つてからはじめて楽ではなかつたが東京方面の大口求人が多かつたため結果的にみてよい効果をあげたのに、ことしは逆に期待していた東京方面の求人が少なく、それだけに見通しがよくない状態である。五日までに求人申込みのあつたのは店員が圧倒的に多く、機械関係、製本工、紡績工といつた例年通りのありふれた業種だけで、給与面も昨年並の住込みで二千円から三千円程度である。

これは昨年までは安い賃金で同能率をあげさせようとした中小企業が、一般労働力の中卒者よりも技能を身につけた高卒者に目を向けはじめたためである。

しかし、こういつた暗い見通しのなかでも去る四日、郡山市で開かれた県下の第一回安定所会議で東京方面からの求人ワク五百八十人が決つたほか、明年一月中旬の第一回選こう日までに各方面から相当数の大口求人があることも予想し、とくに東京都庁では県に大口求人の申込みをすると非公式に連絡を寄せており、就職決定期の三月までは大部分の就職先が決まると職安側ではみている。

生花で情操高める

植田局の自慢

モシモシ娘が生花の稽古に精進している。これは勿来市植田郵便局の電話交換嬢三十人で情操教育を高め立派な家庭人になろうとして始めたもの。交互時間の余暇を利用して現在では毎日のようにお花と取組んで出来上つたものを批判し合うなどしているものであるが局内が明るくなつたほかサービス心がより以上に出てきたと喜こばれている。

同局長は「特定局でお花の稽古をしているのは私の局だけでしよう。お花が情操教育の一助になれば幸いです」と語つている

【写真はモシモシ娘の生花風景】

功労者など表彰

交通安全協常磐支部

交通安全協会常磐支部では六日午後二時から湯本公民館日本間で同管内の優良運転者と民間功労者の表彰式を行い常磐市役所草野秀雄氏と常磐炭鉱中央倉庫係長佐藤芳雄氏の二人に県本部長賞の伝達式を行つた。支部長賞は次の通り。

◇民間功労者＝白土正義、湯本第二小学校交通安全隊、同婦人会、湯本砿主婦連合会、鹿島主婦連合会、磐崎主婦連合会

◇優良運転者＝谷藤新一（八仙）菅野弼一（宝海）松田昭市（三函）大越昇（台ノ山）矢吹二郎（榎木作）　太田原正（八仙）鈴木久（天王崎）高萩留記（長倉）矢吹佐（栄田）村松五月（三函）江尻稔（中屋敷）橋本甚（笠井）岩野留作（日渡）蛭田充（三函）磯上久一（下湯長谷）小島政治（三函）織内勇治（勝善）細島則秋（天王崎）酒井万蔵（古内）阿部次男（八仙）白井均（天王崎）遠藤春美（傾城）高木唯雄（三函）片寄福好（八仙）白土正（辰ノ口）

慶弔録

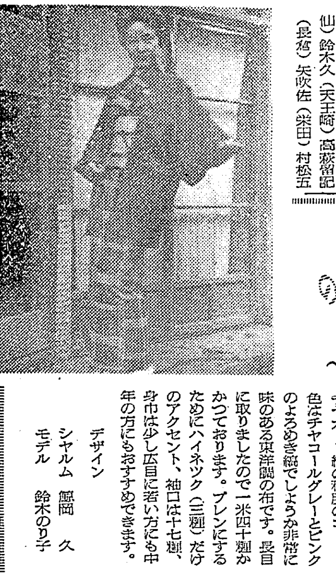
7日

【平市】「出生」▼木田裕子（堂ノ前一四誠一二女）▼鈴木仁実（常磐市下湯長谷三男長女）▼阿部恵子（七軒町四〇太平長女）▼木村恵美子（鍛冶町二三好伸長女）▼高橋保広（田町八二忠次郎長男）▼大木優子（南町四九吏郎二女）▼大庭朋之（南町五三の一濱次長男）「婚姻」▼佐久間貫一（久保町一二市之助四男）と宇佐美初枝（白銀町鉄官一二儀雄長女）

【内郷】「出生」野口輝子（鬼ケ沢一〇〇ユサノ長女）「婚姻」郡司勇と田村しげ子（高野六〇）

冬のモード

～(6)～



中羽織風のコート

チヤガード織の和服のコート色はチヤコールグレーとピンクのよろめき縞でしようか非常に味のある東洋調の布です。長目に取りましたので一米四十糎かかつております。プレンにするためにハイネツク（三糎）だけのアクセント、袖口は十七糎、身巾は少し広目に若い方にも中年の方にもおすすめできます。

デザイン　シヤルム　原岡久

モデル　鈴木のり子

今晩のラジオ

NHK（第一）

六・三〇　一丁目一番地

七・三〇　花の星座

八・一五　劇「海の審判」

九・一五　即興劇場

九・四〇　時の動き

一〇・三〇　ラジオ喫煙室

ラジオ福島

六・一〇　赤胴鈴之助

六・三〇　フクちやん

七・三〇　エンゼルタイム

八・〇〇　素人歌合戦

八・三〇　安川お好み演芸会

九・〇〇　浪曲歌合戦

九・三〇　歌の星座

一〇・三〇　政府の窓

NHKテレビ

七・一五　バス通り裏

七・三〇　花の星座

八・四〇　招かれざる客

九・三〇　日本の芸能

一〇・一五　短篇映画

今晩の映画

【平市】

★平館　十一日迄

四・五五　太陽をぶち落せ

七・一〇　別れの灯台

八・一五　絶唱

★平新東宝　十一日迄

七・〇〇　坊ちやんの野球王

八・二六　臨海軍流血史

★世界館　十一日迄

七・〇五　山を飛ぶ狐姫

八・〇〇　日蓮と蒙古大襲来

★東映劇場　十一日迄

七・〇〇　一丁目一番地

八・二一　紫頭巾

★民劇　十一日迄

七・一〇　喧嘩も楽し

八・二五　続々サラリーマン出世太閤記

★ひかり座　十日迄

六・五五　芽ばえ

八・一五　最後の楽園

★聚楽館　十日迄

六・四〇　死の谷の決斗

七・二〇　若き獅子たち

【内郷市】

★綴映劇　八日迄

六・四五　海は生きている

七・三〇　隠密将軍と喧嘩大名

九・一〇　花嫁の抵抗

【四倉】

★国際劇場　八日迄

七・一〇　恋愛自由型

八・三五　丹下左膳

★海楽座　八日迄

六・四〇　東京のバスガール

八・二〇　抵抗する年令

★東宝　八日迄

六・二〇　抵抗する年令

八・二〇　東京のバスガール

【植田】

▲植田館　十一日迄

母の旅路

明日を賭ける男

▲菊多館　十一日迄

希望の乙女

鳴門飛脚

時計・指輪　眼鏡　万年筆　平市　秋山時計店　駅前

文具のナガノ　平市銀座

クリーニング　洗張・防水　小松崎　平郵前

割烹　開花　田町

電話一つで一里の出前　酒喜庵

開店　全機新型　明日　11月8日（3時）　平パチンコ　三田小路

さわやかな香ざわり　コクのある清酒　鷲酒造店　勿来市植田町

案内スライド・アドバルーン・店内装飾　営業沿線看板・屋外看板・サンドイツチマン　株式会社　常磐広告社　平市三十米通り（七十七銀行隣り）

八日開店　このたび江戸風のおでんと一品料理の店を開きました。ご家族連れでご利用下さいませ。　おでん　一品料理　茶めし　お雑煮　毎日午前十一時開店　會我　平市

平母店　8／9／10日　サービスセール　冷えびえする季節にちなんで秋冬もの衣料を更にご奉仕

裏毛メリヤス肌着　子供裏毛上下……各八〇〇円　子供裏毛上下……各九〇〇円　婦人裏毛ズロース……各一二〇円　婦人長ズロース……一枚一〇〇円　紳士裏毛シャツ……一枚五〇円　紳士裏毛シャツ……一枚二〇〇円　其他各種豊富発表

靴下セール　紳士ナイロン柄靴下……一足一〇〇円　紳士ナイロン無地靴下……二組五〇〇円　紳士バイル靴下……一足一〇〇円　婦人バイルソックス……一足一〇〇円　婦人バイルソックス……二組五〇〇円　子供靴下……一足一〇〇円より　紳士指付靴下……一足一〇〇円

洋品既製　婦人セーター……五五〇円　シヨール……六五〇円　毛布……五〇〇円　K印高中学生服……五〇〇円　忠臣印高中学生服……九〇〇円　オープンシヤツ……四五〇円　ジヤンバー……九八〇円　紳士半オーバー……一、八〇〇円　子供上衣……一、二〇〇円　婦人ブラウス……三〇〇円

防寒衣料まつり　平本店　8日より

七・五・三洋服・婦人セーター　シヨール・殿方セーター　オープンシヤツ・ネクタイ　婦人スラックス・婦人上衣　婦人オーバー　新柄新色をまじえて陳列発表会中

皆様の利益を護る店　大黒屋　平母店・平本店　湯本店・小名浜店　金坂店・植田店